

# マツシロ株式会社

## 2016年度 環境活動レポート

認証・登録番号 0001034

(対象期間：2016年6月1日～2017年5月31日)



エコアクション21 10年継続事業者表彰を授与

作成日：2017年7月31日

更新日： 年 月 日

この紙は端紙を使用しています

## □ごあいさつ

年々気温が上昇しています。今は猛暑日に加え 37 度以上をスーパー猛暑日というそうです。それだけ夏の気温が高くなってきています。日本はパリ協定に遅まきながら参加をしましたが、アメリカのトランプ大統領がパリ協定離脱を表明しました。地球規模で環境を考えていかなければいけないときだけに大変残念なことです。我々の小さな活動を確実に推進していくことがより重要になったと認識し、エコアクション 21 の活動を継続していくことを宣言します。そして、エコアクション 21 がより広く普及することを願います。

2017 年 8 月  
代表取締役社長 松城幹夫

# 環 境 方 針

当社は、紙袋の製造販売メーカーとして、丈夫で何度でも使用していただける、高品質の商品を製造することに力を入れ約半世紀が経過しました。とは云え、残念ながら紙袋は最終的にはごみになってしまう商品です。そのため、当社は以前から常々環境を意識してまいりました。

当社経営方針の中に、「環境を意識して、地域社会に信頼され、社会に貢献する会社になります」という項目があります。この方針を追求する為、全社一丸となって積極的に、自主的に環境経営システムを構築・運用し、保全活動を追及していきます。当社の事業活動における環境負荷の低減、地域社会および地球環境の改善を行うために行動指針を制定します。

## ・ 行動指針

1. 地球温暖化緩和のための省エネルギー
2. 資源の有効利用
3. 廃棄物の削減
4. 有害化学物質の使用禁止
5. グリーン調達並びに環境にやさしい商品生産と企画及び販売

以上について、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

- ・ 環境関連規制及び当社が約束した事柄を順守します。
- ・ 環境への取り組みを環境活動レポートとして公表します。

制定日：2005 年 10 月 21 日

改定日：2014 年 6 月 24 日

代表取締役社長 松城 幹夫

## □組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
マツシロ株式会社  
代表取締役社長 松城 幹夫
- (2) 所在地  
本社/工場：大阪府東大阪市角田1丁目10番8号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 製造課工場長：南野 幸伸 TEL：072-962-1431  
担当者 製造課工場長：南野 幸伸 TEL：072-962-1431
- (4) 事業内容  
紙袋及び袋物全般の製造・企画・販売  
雑貨小物の製造・企画・販売  
主要製品：紙・ポリプロピレン完全分別紙袋、ポリプロピレンビニール被せ紙袋、  
レジかご対応バッグ(エコマイラインバッグ)、環境対応買い物袋 等  
ホームページ：<http://www.m-elitebag.co.jp>
- (5) 事業の規模  
主要製品生産量 267 トン/年  
従業員 11 名  
本社/工場延べ床面積 3,976 m<sup>2</sup>
- (6) 事業年度  
6月～5月

## □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：マツシロ株式会社  
活動：紙袋及び袋物全般の製造・企画・販売

## □環境目標とその実績

本社/工場における主要な環境負荷と環境目標及びその実績は次のとおりです。

項目	年度	2013年度		2016年度		2017年度	2018年度
		(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	
電力の省エネ (0.393kg-CO <sub>2</sub> /kwh)	(kg-CO <sub>2</sub> )	25,660.94	19,502.31	19,688.51	19,502.31	19,245.70	
自動車燃料の削減	(kg-CO <sub>2</sub> )	9,815.75	9,619.43	10,815.85	9,619.43	9,521.27	
都市ガス	(kg-CO <sub>2</sub> )	—	—	24.96	—	—	
二酸化炭素排出量合計 (kg-CO <sub>2</sub> )		35,476.69	29,121.74	30,508.62	29,121.74	28,766.97	
可燃廃棄物の削減	(kg/年)	2,880.00	2,822.40	2,740.00	2,793.60	2,794.80	
節水	(m <sup>3</sup> /年)	80.00	64.00	64.00	64.00	63.20	
環境配慮製品の販売促進	(万円/年)	6,192.66	6,811.93	5,865.32	6,811.93	6,873.86	

※有害化学物質の使用禁止は、製品への環境配慮として取り組む

※グリーン調達は、製品への環境配慮及び電力の省エネ、自動車燃料の削減手段として取り組む

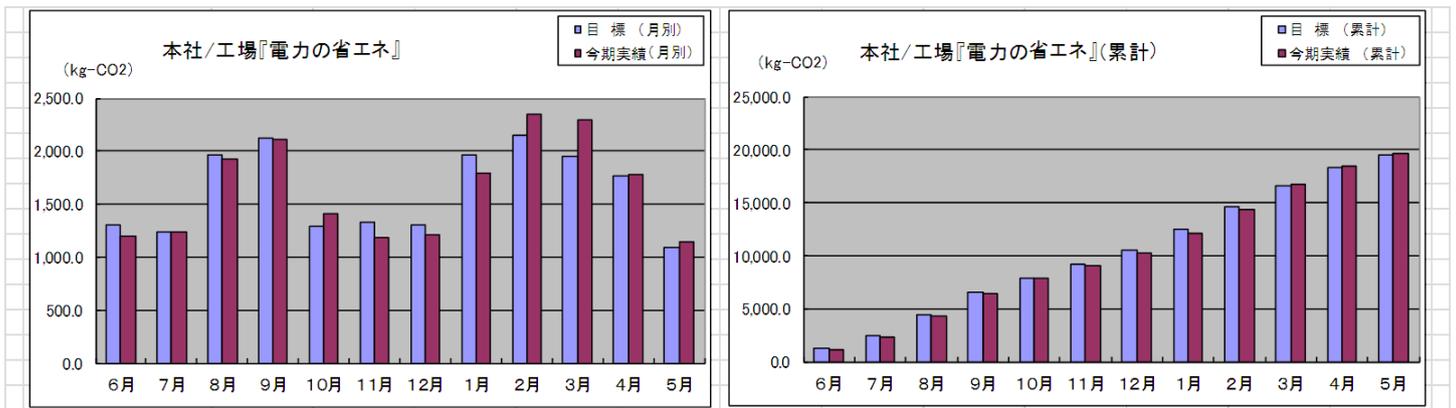
## 【エコアクション活動板】



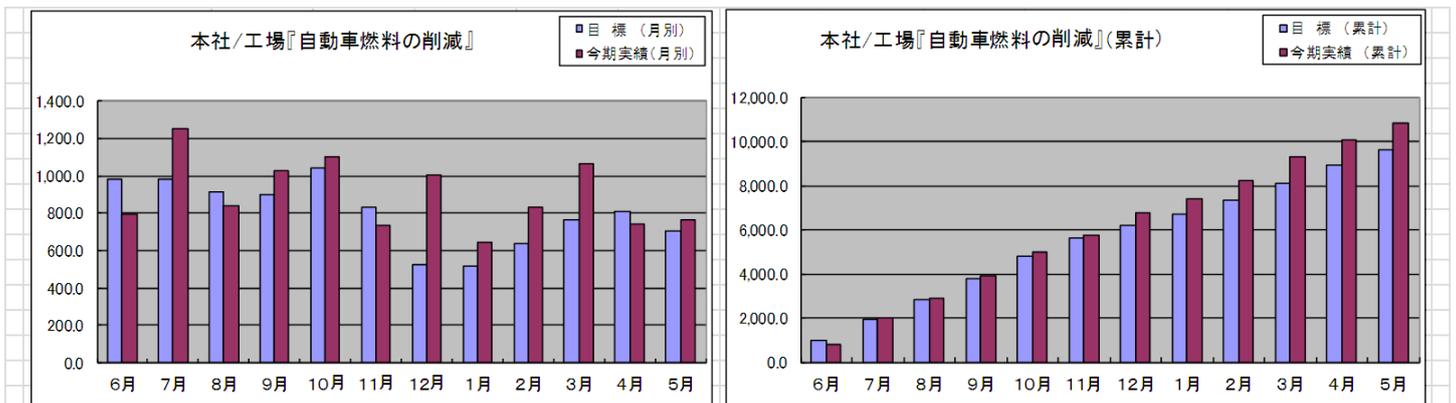
□環境活動の取り組み計画と評価

本社/工場

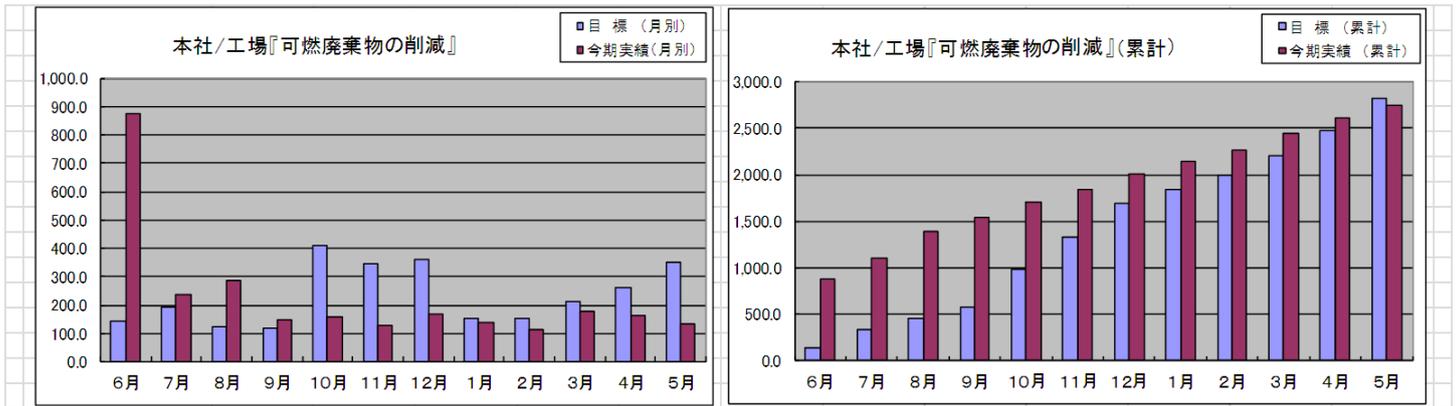
取り組み計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
①電力の省エネ (基準年度比 76%) ・エアコンを省エネタイプに更新 ・省エネ機器の導入	基準 : 25,660.94kg-CO2 目標 : 19,502.31kg-CO2 実績 : 19,688.51kg-CO2 基準比 : 76.73% 23.27%削減 目標比 : 100.95% 0.95%増加	(目標未達成) 目標削減率を▲24%にした為、未達成になってしまった。 今後もこまめな節電にも注意を払い取り組んでいきます。  <b>目標未達成の為、次年度削減比を76%のままにします</b>



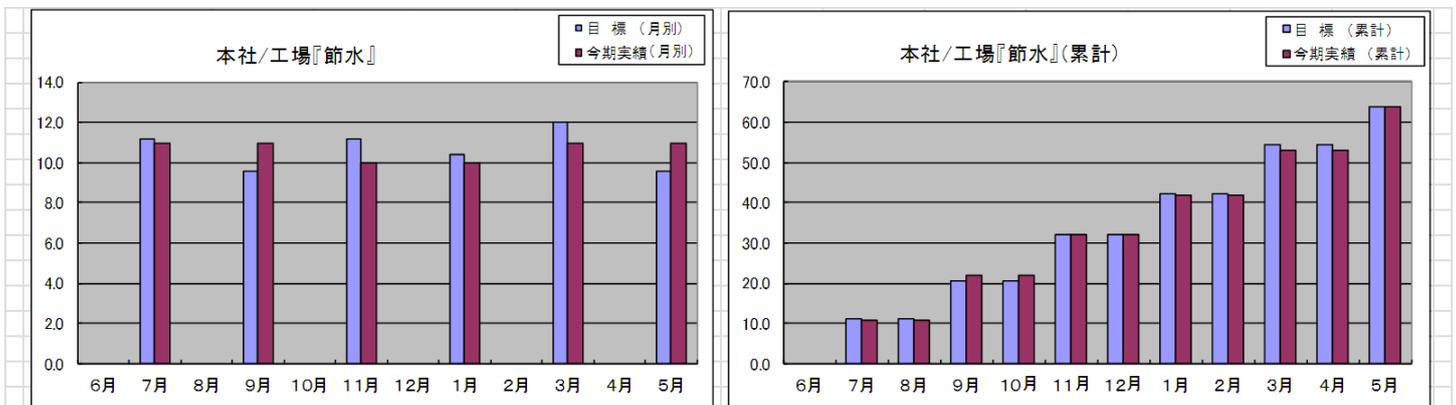
取り組み計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
②自動車燃料の削減 (基準年度比 98%) ・営業ルート効率化 ・カーナビ導入 ・低燃費車に更新 ・在庫管理と出荷情報の共有⇒加工所への車使用頻度の削減	基準 : 9,815.75kg-CO2 目標 : 9,619.43kg-CO2 実績 : 10,815.85kg-CO2 基準比 : 110.19% 10.19%増加 目標比 : 112.44% 12.44%増加	(目標未達成) 出張等、車での営業活動が増え、ガソリンの使用量を抑える事が出来なかった。 出張ルートなど計画的に練り、ガソリンの使用量を抑えるようにします。  <b>目標未達成の為、次年度削減比を98%のままにします</b>



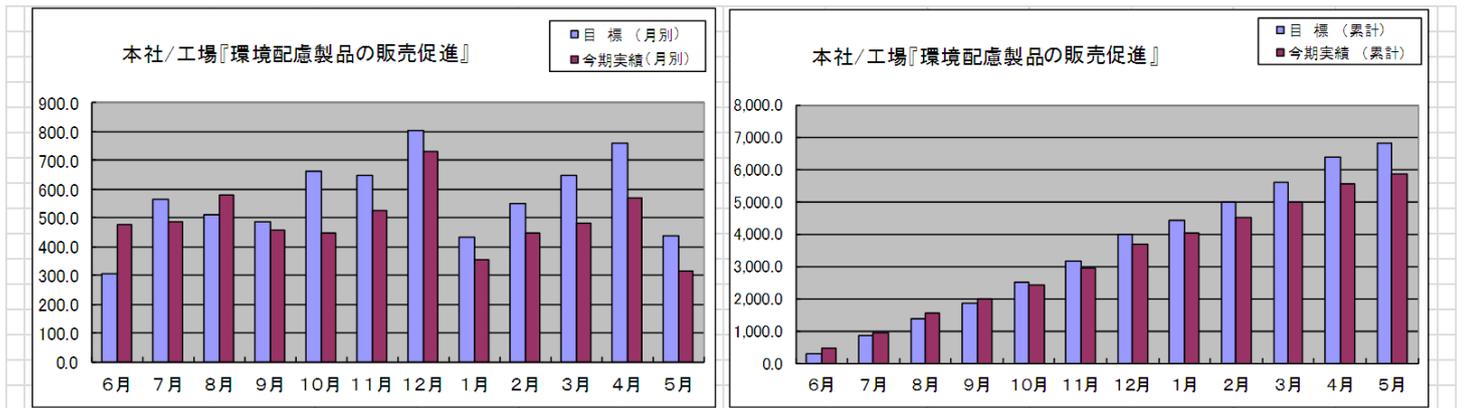
取り組み計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
③可燃廃棄物の削減 (基準年度比 98%) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの分別と削減</li> <li>・断裁ミスの削減</li> <li>・廃棄製品の再利用</li> <li>・端紙の使用</li> <li>・ミスコピー及びミスプリントの防止</li> <li>・スキャンによる資料保管でペーパーレス化の推進を図る</li> </ul>	基準 : 2,880.00 kg 目標 : 2,822.40 kg 実績 : 2,740.00 kg 基準比 : 95.14% 4.86%削減 目標比 : 97.08% 2.92%削減	(目標達成) 分別+再利用の意識を常に持って取り組んでいきます。  <b>目標を達成したので、次年度削減比を97%にします</b>



取り組み計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
④節水 (基準年度比 80%) <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水利用による植木の水やり</li> <li>・節水弁(バルブ)取付け</li> </ul>	基準 : 80.00 m <sup>3</sup> 目標 : 64.00 m <sup>3</sup> 実績 : 64.00 m <sup>3</sup> 基準比 : 80.00% 20.00%削減 目標比 : 100.00% 0.00%削減	(目標達成) 節水意識を持って行動した結果、目標達成となった。  <b>目標は達成したが、次年度削減比を80%のままにします</b>



取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
⑤環境配慮製品の販売促進 （基準年度比 110%） ・エコマーク取得 ・有害化学物質の使用禁止 ・再生紙の使用 ・新商品の開発	基準：6,192.66 万円 目標：6,811.93 万円 実績：5,865.32 万円 基準比：94.71% 5.29%未達 目標比：86.10% 13.90%未達	（目標未達成） エコマーク取得準備継続中。 有害物質を含む部材の使用及び購入禁止 新製品開発及び新規提案による売上アップを図る。  <b>目標未達成の為、次年度増加比を 110%のままにします</b>



### 【再生紙使用商品】

古紙パルプ配合率 30%以上

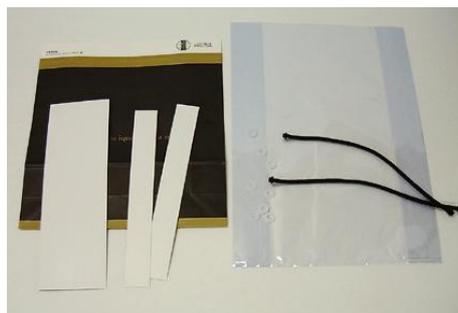


白無地手提げ袋

白無地コーティングバッグ

白無地ビニールカバーバッグ

【紙とポリプロピレンに完全分別可能商品】



【レジかご対応バッグ エコマイラインバッグ】



【環境対応買い物袋 かんたんバッグ】



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規	適用される事項	本社/工場
廃棄物処理法	一般廃棄物	○
騒音規制法	製袋機・断裁機	○
容器包装リサイクル法	包装資材商品	○
家電リサイクル法	テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機	○廃棄無し
フロン排出抑制法	業務用エアコン	○廃棄無し

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

以上

### □代表者による全体の評価と見直し

目標に対して達成できていない項目があります。要因は10年を超える活動で目標の数値が年々厳しくなっていること、また異常気象による暑さなどで電力の目標を達成できなかったことがあります。しかし、その中、目標に向けての活動とその努力は大いに評価できると考えます。今回から環境配慮商品の販売促進に古紙配合30%の紙の使用についても含めるようにし、より環境にやさしい商品作りとその普及に努めるようにします。環境活動に対する活動以外にも地域などのバザーによる貢献をこれからも続け、社会の役に立つ企業としてこれからも活動を続けていきます。

### □節電活動の紹介

事務所で行っている、節電への取り組みをご紹介します。



冷房の温度を、27℃⇒28℃へ  
(外気に比べれば十分涼しいです)



事務所と倉庫の一部の蛍光灯をLEDに更新  
(とても明るいです)



サーキュレーターで空気を攪拌  
(隅々まで冷気が行き渡ります)



デマンド監視装置による電気使用量監視  
(目標電力を45kwから40kwに下げました)